



中西信洋《Layer Drawing-Light of sunset》2016年 © Nobuhiro Nakanishi, Courtesy of Yumiko Chiba Associates

## Double Reflection

### ダブルリフレクション

世界を見つめなおす瞬間<sup>とき</sup>

展覧会名 ダブルリフレクション：世界を見つめなおす瞬間<sup>とき</sup>

会 期 2018年4月7日（土）— 6月17日（日）

会 場 富山市ガラス美術館 展示室3（3階）

開場時間 午前9時30分～午後6時 ※初日は開会式（11：00～）後に開場します。  
（金・土曜日は午後8時まで。入場は閉場の30分前まで）

閉場日 4月18日（水）、5月9日（水）、5月16日（水）、6月6日（水）

観覧料 一般700円（500円）大学生500円（300円）

○（ ）内は20名以上の団体 ○高校生以下は無料

※1 他展覧会との共通観覧券の取り扱いあり

※2 本展観覧券で常設展もご覧いただけます

主 催 富山市ガラス美術館

後 援 北日本新聞社、北日本放送、チューリップテレビ、富山テレビ放送

お問い合わせ：富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5-1

TEL：076-461-3100 Email：bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp（広報担当）

## 概要

私たちが何気なく過ごしている日常の中には、意識しなければ感じ取れないものが数多くあります。例えばそれは、移ろいゆく時間の流れや、周囲の空間に溶け込んでいて気づかない存在、他者あるいは自己の心情や想像、身近にあるものの本質などです。身のまわりの世界を、普段とは異なる視点から見渡す時、思いがけない変化や新たな側面が見えてきます。本展覧会では、意識しなければ見過ごしてしまうことに着目し、私たちの認識をゆさぶるような作品を制作する4名の作家を紹介します。私たちはそれぞれの作品世界に足を踏み入れることで、制作の手がかりとなった作家の気づきを感じとります。作品を介して作家と私たちの眼差しが交差するとき、私たちは新たな視点から世界を捉え始めるのです。

## 出品作家

中西信洋 笹川健一 山本一弥 松宮硝子（展示導線順）

## 作家略歴

中西信洋 NAKANISHI Nobuhiro

1976 福岡県生まれ

1999 東京造形大学造形学部美術学科Ⅱ類（彫刻専攻）卒業

2002 京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了

現在 大阪府在住

笹川健一 SASAKAWA Kenichi

1981 神奈川県生まれ

2004 多摩美術大学工芸学科 ガラスプログラム卒業

2006 多摩美術大学大学院美術研究科 博士前期課程工芸専攻修了

2006 金沢卯辰山工芸工房（～'08）

2010 多摩美術大学 工芸学科 ガラスプログラム助手（～'14）

現在 京都府在住

**山本一弥 YAMAMOTO Kazuya**

1978 高知県生まれ

2000 武蔵野美術大学造形学部彫刻学科卒業

2002 武蔵野美術大学大学院造形研究科修士過程美術専攻彫刻コース修了

2017 武蔵野美術大学共通彫塑研究室准教授

現在 埼玉県在住

**松宮硝子 MATSUMIYA Shoko**

1981 東京生まれ

2007 東京造形大学大学院修了

現在 東京都在住

**| 関連プログラム**

■開会式

2018年4月7日(土) 午前11時より

会場：富山市ガラス美術館 3階ロビー

※一般の方もご覧いただけます。

■出品作家によるギャラリートーク

2018年4月7日(土) 開会式終了後

講師：中西信洋 笹川健一 山本一弥 松宮硝子

会場：富山市ガラス美術館 3階 展示室3

■学芸員によるギャラリートーク

2018年4月21日(土)、4月29日(日)、5月6日(日)、5月19日(土)、

6月2日(土)、6月16日(土)

各回午後3時より開催

会場：富山市ガラス美術館 3階 展示室3

※関連プログラムはいずれも事前申込不要・参加無料。

ただし、展示室の入場には本展の観覧券をご提示下さい。

※関連プログラムの日時は都合により変更となる場合があります。

最新の情報は美術館ホームページにてご確認ください。

<http://toyama-glass-art-museum.jp>

## 出版刊行物

展覧会カタログ「ダブルリフレクション：世界を見つめなおす瞬間<sup>とき</sup>」

2017年4月7日発刊（予定）

取り扱い：TOYAMA キラリ（富山市ガラス美術館）2階ミュージアムショップ

## 広報用画像

画像1-4を広報用に貸出いたします。

ご希望の方は、6pの画像貸出し申請書の使用条件をご確認いただき

EメールかFAXにて富山市ガラス美術館広報担当へ申請書をお送りください。

E-mail：bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp FAX：076-461-3310

## | 出品作品（一部）



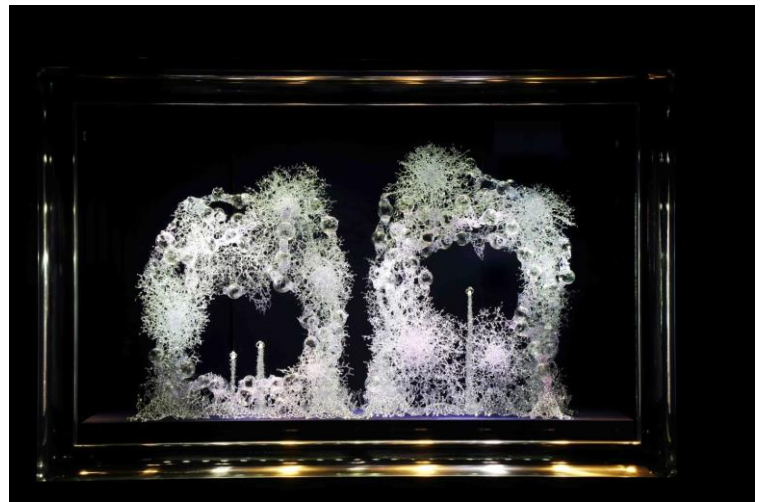
1 中西信洋《Layer Drawing-Light of sunset》2016年 作家蔵  
© Nobuhiro Nakanishi, Courtesy of Yumiko Chiba Associates



2 山本一弥《しみ出す結晶》2017年 作家蔵  
撮影：柳場大



3 笹川健一《うつわのこと》2008年 作家蔵  
撮影：笹川健一



4 松宮硝子《Duqueapuer》ヴァン クリーフ&アーペル 銀座本店でのインスタレーションより  
2015年 作家蔵 © Van Cleef & Arpels

年 月 日

(宛先) 富山市ガラス美術館長

担当者： \_\_\_\_\_  
Tel： \_\_\_\_\_ Fax： \_\_\_\_\_  
E-mail： \_\_\_\_\_  
住所： \_\_\_\_\_  
団体名： \_\_\_\_\_

富山市ガラス美術館 画像貸し出し申請書

次のとおり、掲載用素材として企画展「ダブルリフレクション：世界を見つめなおす瞬間<sup>とき</sup>」の画像を申し込みます。

1. 掲載（放映）媒体名： \_\_\_\_\_
2. 媒体種別：TV 新聞 雑誌 フリーペーパー 電子書籍 WEB サイト 携帯媒体  
その他（ \_\_\_\_\_ ）
3. 掲載の趣旨  
別紙のとおり（媒体資料を添付してください） \_\_\_\_\_
4. 掲載（放映）日時： \_\_\_\_\_
5. ご希望の画像番号： \_\_\_\_\_

○作品に文字やほかのイメージを重ねることはできません。また、縦横比の変更やトリミング、キャプション等の文字が写真にかぶらないようご配慮をお願いします。

○作品掲出には指定するキャプションを必ず入れてください。

○作品画像の2次使用はご遠慮ください。

※同一記事の再掲載や再放送等については再申請が必要となります。また、画像が使用できる期間は展覧会期間内のみとなります。

○商品のPR等の商業利用に関しては画像の提供は出来ません。

○校正ゲラの段階で情報の確認をさせていただきます。

○記事が掲載された場合はDVD、掲載紙、誌を一部ご寄贈いただきますようお願いいたします。

申請書送付先：富山市ガラス美術館広報担当 E-mail: bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Fax：076-461-3310

お問い合わせ：富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町 5-1  
TEL：076-461-3100 Email：bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp（広報担当）